



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3058 URL <http://www.sanyodohd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長

(氏名) 伊藤 勇

TEL 052-871-3434

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,679	△3.5	△21	—	13	△54.3	△31	—
2019年3月期第3四半期	15,207	△5.6	12	△93.3	30	△85.0	25	△79.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △28百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △11百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△4.36	—
2019年3月期第3四半期	3.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,441	4,432	27.0
2019年3月期	17,353	4,460	25.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,432百万円 2019年3月期 4,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△2.0	△90	—	△60	—	△130	—	△17.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,400,000株	2019年3月期	7,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	116,606株	2019年3月期	116,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,283,394株	2019年3月期3Q	6,583,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税の影響や人件費の上昇、物流費の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受け、雑誌やレンタルの市場縮小が続く一方、楽しさや学び、健康等を大切にするライフスタイルの定着により、新たな市場が広がりをみせています。

このような経営環境のもと、当社グループは新本と古本を併売するハイブリッド型書店を核として、DVD・CDのレンタルや文具・雑貨などの販売部門を顧客のニーズの変化にあわせて展開するとともに、学びたい、健康になりたいといったニーズにあわせてフィットネス、教室等を併設した店舗を「ブックバラエティストア」として展開を進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、アクロスプラザ恵那店(岐阜県恵那市)の移転増床をおこないました。一方で、砂田橋店、東習志野店、東戸塚校を閉店したことから、第3四半期末時点で78店舗3校となりました。また、養老店(岐阜県養老郡)、知立店(愛知県知立市)の2店舗に「スポーツクラブアクトスWill_G(ウィルジー)」を導入し、フィットネス導入店舗は10店舗となりました。

オペレーション面では、前年度に引き続きレンタル専用セルフレジを7店舗、物販・レンタルを同時に取扱い可能な統合セルフレジを18店舗(レンタル専用からの切り替えを含む)を導入し、セルフレジ導入店舗は40店舗となりました。そのほか、営業時間の見直しを16店舗でおこなうなど、収益力強化のために抜本的な生産性向上策を進めております。さらに、12月には決済方法の多様化対応の一環として、PayPay・LINEPayを全店舗に導入いたしました。

また、本年創業60周年を迎えた当社グループは、お客様への感謝を伝えるために4月からノベルティグッズのプレゼントキャンペーンを開始するとともに、7月には「三洋堂書店60周年記念サイト」を開設いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高146億79百万円(前年同四半期比3.5%減)、営業損失21百万円(前年同四半期は営業利益12百万円)、経常利益13百万円(前年同四半期比54.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益25百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 個人顧客事業

個人顧客事業の売上高は、新規事業部門、文具・雑貨・食品部門、古本部門、TVゲーム部門が健闘いたしました。他の各部門で厳しい推移が続く、全体では144億53百万円(前年同四半期比3.7%減)となりました。また、移転増床やフィットネス事業の拡大を進めたため、関連する経費が増加したことから、セグメントの営業利益は19百万円(同72.1%減)となりました。

個人顧客事業のうち、主要な部門の売上高前年同四半期比は、書店部門4.3%減、レンタル部門13.6%減、文具・雑貨・食品部門0.3%増、セルAV部門4.2%減、古本部門3.0%増、TVゲーム部門0.4%増となり、新規事業部門は、フィットネス事業が売上に貢献したことから60.0%増となりました。

② サービス販売事業

不動産賃貸収入、自動販売機収入、受取手数料、保険代理業収入などによるサービス販売事業の売上高は、2億23百万円(同16.6%増)となり、セグメントの営業利益は1億56百万円(同13.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は164億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億12百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、商品の減少などにより流動資産が6億48百万円減少したこと、投資その他の資産の減少などにより固定資産が2億64百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては120億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億85百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことから流動負債が5億18百万円減少し、長期借入金の返済が進んだことなどから固定負債が3億66百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては44億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,580,223	3,121,709
売掛金	136,258	227,889
商品	5,799,058	5,512,343
その他	447,087	451,815
流動資産合計	9,962,628	9,313,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,846,754	1,798,500
土地	2,509,504	2,491,405
その他(純額)	520,973	562,300
有形固定資産合計	4,877,232	4,852,207
無形固定資産	115,564	112,180
投資その他の資産	2,398,571	2,162,936
固定資産合計	7,391,368	7,127,324
資産合計	17,353,997	16,441,083
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,748,680	7,276,549
1年内返済予定の長期借入金	573,400	522,498
未払法人税等	3,813	7,148
賞与引当金	46,518	20,729
ポイント引当金	142,230	122,450
資産除去債務	17,851	14,179
その他	384,153	434,554
流動負債合計	8,916,647	8,398,108
固定負債		
長期借入金	2,945,886	2,556,606
退職給付に係る負債	325,743	336,636
資産除去債務	621,449	621,282
その他	84,101	96,047
固定負債合計	3,977,180	3,610,572
負債合計	12,893,828	12,008,681

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,986,000	1,986,000
資本剰余金	1,720,996	1,721,244
利益剰余金	750,203	718,467
自己株式	△100,520	△100,520
株主資本合計	4,356,679	4,325,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,718	101,065
退職給付に係る調整累計額	7,715	6,138
その他の包括利益累計額合計	103,433	107,203
非支配株主持分	56	7
純資産合計	4,460,169	4,432,402
負債純資産合計	17,353,997	16,441,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	15,207,489	14,679,925
売上原価	10,616,860	10,199,791
売上総利益	4,590,628	4,480,133
販売費及び一般管理費	4,578,627	4,502,043
営業利益又は営業損失(△)	12,000	△21,909
営業外収益		
受取利息	2,750	5,647
受取配当金	5,492	5,744
受取保険金	10,574	6,775
協賛金収入	6,863	2,832
排出権収入	—	7,721
その他	15,554	20,995
営業外収益合計	41,236	49,717
営業外費用		
支払利息	11,106	13,549
株式交付費	11,630	—
その他	465	536
営業外費用合計	23,202	14,086
経常利益	30,034	13,722
特別利益		
固定資産売却益	11,669	2,516
投資有価証券売却益	112	6,852
特別利益合計	11,781	9,368
特別損失		
固定資産除却損	1,451	348
差入保証金解約損	—	2,892
特別損失合計	1,451	3,241
税金等調整前四半期純利益	40,363	19,848
法人税、住民税及び事業税	9,054	9,332
法人税等調整額	6,337	43,038
法人税等合計	15,391	52,370
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,972	△32,521
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△83	△785
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	25,055	△31,735

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,972	△32,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,028	5,346
退職給付に係る調整額	△1,784	△1,576
その他の包括利益合計	△36,813	3,769
四半期包括利益	△11,841	△28,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,758	△27,966
非支配株主に係る四半期包括利益	△83	△785

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。